

SDS 登録 No. 0070759-JP10

製品名: メタルラバー20 エアゾールタイプ ブレーキシリンダ組付液 MR20

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	メタルラバー20 エアゾールタイプ ブレーキシリンダ組付液 MR20
製品分類	自動車ブレーキ用非鉱油系ラバー潤滑剤
主な用途	ブレーキシリンダ組付防錆液
会社名	シーシーアイ株式会社
住所	〒501-3923 岐阜県関市新迫間 12
担当部門	化成品技術部 化成品技術グループ
電話番号	0575-24-6171
FAX 番号	0575-24-6175
発行日	2016 年 4 月 1 日

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	区分 1
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)
急性毒性(経皮)		分類できない
急性毒性(吸入:ガス)		分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)		分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)		分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)		分類できない
皮膚腐食性・刺激性		区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		区分 2
呼吸器感作性		分類できない

SDS 登録 No. 0070759-JP10

製品名: メタルラバー20 エアゾールタイプ プレーキシリンダ組付液 MR20

	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分2(心臓)
		区分3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類対象外
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分3
	水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール
 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 眠気又はめまいのおそれ
 心臓の障害のおそれ
 水生生物に有害

取扱注意

[安全対策]

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 取扱い後は、取り扱い物質と接触した身体の各部位をよく洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

[応急処置]

皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して
 いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
 特別な処置が必要である。(詳細は4項を参照のこと)

SDS 登録 No. 0070759-JP10

製品名: メタルラバー20 エアゾールタイプ プレーキシリンダ組付液 MR20

- 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 [保管(貯蔵)] 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。
 日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。
 [廃棄] 内容物/容器を各都道府県の規則に従って、専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。
 可燃性ガスが入っている。引火及び高温による内圧上昇により破裂の恐れがある。
 液化ガスが皮膚に触れると凍傷を生じる恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

含有成分及び含有量

成分名	含有量 wt%	CAS No	化審法 No.	労安法 No.	PRTR 法 No.	毒劇法	
ホ ¹ リアルキレングリコールエーテル	35~45	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当	
ジシクロヘキシルアミン	<1	101-83-7	3-2259	非該当	非該当 (1種 188)	非該当	
ジメチルエーテル	15~25	115-10-6	2-360	非該当	非該当	非該当	
液化石油ガス	プロパン	<1	74-98-6	2-3	非該当	非該当	非該当
	ノルマルブタン	20~30	106-97-8	2-4	482	非該当	非該当
	イソブタン	10~20	75-28-5	2-4	482	非該当	非該当

- 注記 化審法 No: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報告示番号
 労安法 No: 労働安全衛生法第 57 条の 2 第 1 項政令指定番号の政令番号
 PRTR 法 No: 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善に関する法律(PRTR 法)の対象化学物質の政令番号
 毒劇法: 毒物及び劇物取締法の別表一(毒物)、別表二(劇物)、別表三(特定毒物)毒物及び劇物指定令

4. 応急措置

以下のいかなる場合も、必ず医師の手当てを受けること。

眼に入った場合

噴射したガスやミスト、泡沫等が眼に入った場合、清浄な水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。瞼及び眼球の隅々まで洗眼する。眼が開けられない場合、無理にあけさせない。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

できるだけ速やかに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

付着物を布にて素早く拭き取る。

多量の水と石鹼(又は皮膚用の洗剤)を使用して十分に洗い落とす。

溶剤、シンナーは使用しない。

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。

また溶剤が全身にかかった場合は、流水又はシャワー等で十分に洗い流す。

ガスの付着を受け、凍傷となった場合には衣服は脱がせず、そのまま多量の水又は温水で洗い流す

外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の手当てを受けること。

吸入した場合

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。

SDS 登録 No. 0070759-JP10

製品名: メタルラバー20 エアゾールタイプ プレーキシリンダ組付液 MR20

呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。呼吸しやすい姿勢で休息させること。
蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所で安静にし、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合には、水で口の中を洗い、安静にして、直ちに医師の診断を受けること。
自然に嘔吐が起きた場合、気道への吸入が起きないように身体を傾斜させる。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

皮膚刺激
強い眼刺激
眠気又はめまいのおそれ
心臓の障害のおそれ
応急措置をする者の保護 :換気を行う。
救助者は、状況に応じて適切な保護具(有機溶剤用の防毒マスク等)を着用する。
火気及び着火源に注意する。

医師に対する特別な注意事項

5. 火災時の措置

消火剤

使ってはならない消火剤

特有の危険有害性

特有の消火方法

消火を行う者の保護

泡、散水又は噴霧水、炭酸ガス
棒状注水
火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。
極めて燃えやすい、熱、火花、火炎で容易に発火する。
火災によって刺激性、毒性又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
引火性の高いガス、液体及び蒸気。
直ちに消火器等で消火する。
指定の消火器を使用すること。
可燃性の物を周囲から素早く取り除くこと。
可能であれば、エアゾール容器を火元から遠ざける。
移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。
速やかに避難し、関係者以外は立ち入り禁止とする。
火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがあるので、消火活動には距離を十分に取り、高温にさらされる製品容器には水等をかけて冷却する。
消火活動は十分距離をとって、風上から行う。
有毒なガス(CO、NOx、SOx 等「10. 安定性及び反応性」参照)の吸入を避ける。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火者は必ず適切な保護具(耐熱着衣、保護眼鏡等)を着用し、空気呼吸器等を装備する。消火活動は十分距離をとって、風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

ばく露防止の為、作業の際には適切な保護具を着用する。
眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
密閉された場所に入るときは換気する。
漏れ発生時(噴出時)には風上より処置を行うようにし、容器の漏出部は上向きにし、完全にガスを噴出させてから処置をする。
付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、風下の人を避難させ、関係者以外の立ち入りを禁止する。
着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

SDS 登録 No. 0070759-JP10

製品名: メタルラバー20 エアゾールタイプ プレーキシリンダ組付液 MR20

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしないこと。

引火性が高いガス及び蒸気。着火源を取り除く-禁煙。

環境に対する注意事項

河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

必要であれば、関係省官庁等へ速やかに連絡する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂等の不燃性のものに吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収し、後で処理する。

(吸収したものを集める際には清潔な帯電防止工具を用いる)

衝撃・静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

蒸気発生が多い場合は噴霧注水で蒸気発生を抑制する。

付着物、廃棄物などは関係法規に従い処理すること。

二次災害の防止策 :付近の着火源となるものを速やかに取除くとともに消火剤を準備する。

漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。

火花を発生しない工具を使用する。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

静電気対策のため、装置等は接地し、電機機器類は防爆型(安全増型)を使用する。

静電気対策を行い、作業衣、作業靴等は通電性の物を使用する。

取り扱う場所の近くに、洗眼や身体を洗浄できる設備を設置する

工具は火花防止型の物を使用する。

局所排気・全体換気

換気のよい場所で取り扱う。

取り扱う場合は、局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で取り扱うこと。

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。

安全取扱注意事項

すべての安全注意をよく読み理解するまで取り扱わないこと。

使用時には、使用者にかからないように風の流れを背後から受けるようにすること。

周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する-禁煙。

火炎に向かって噴射してはならない。

温度が高くなる場所に置くと、容器が破裂する恐れがある。

ミストを吸入しない。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

ばく露防止の為、保護具を着用して作業を行う。

休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

取り扱い後は手洗い等を十分に行い、衣服に付着した場合は着替える。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の取扱いをしてはならない。

この製品を取り扱う際に、飲食又は喫煙をしないこと。

SDS 登録 No. 0070759-JP10

製品名: メタルラバー20 エアゾールタイプ プレーキシリンダ組付液 MR20

混触禁止物質と接触しないように注意する。

環境へ放出を避けること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

保管**技術的対策**

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

接触禁止物質 :「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管条件

幼児の手の届かない所に置くこと。

直射日光を避け、通風の良い所に保管する。

缶が錆びて内容物が漏出、又は噴出する恐れがある為、水回り等の湿気の高い所での保管は避けること。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること-禁煙。

40℃以上になる所には置かないこと。

混触禁止物質と接触並びに同一場所での保管を避ける。

保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。

その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定めることに従う。

容器包装材料

高圧ガス保安法等の法令で規定されている容器を使用する。

容器は、溶接、加熱、穴あけ又は切断しない。爆発を伴って残留物が発火する事がある。

8. 暴露防止及び保護措置**管理濃度、許容濃度**

成分	管理濃度 (安衛法)	許容濃度		
		日本産衛学会	ACGIH(TLV-TWA)	ACGIH(TLV-STEL)
ホリアルキレングリコールエーテル	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
ジシクロヘキシルアミン	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
ジメチルエーテル	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
液化石油ガス	設定なし	ルマルブタン 500ppm イソブタン 500ppm	プロパン,ブタン 1000ppm (C1~C4 のアルカン類)	設定なし

設備対策

取扱い設備は防爆型を使用する。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。

取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。

屋内作業の場合は、作業者が直接ばく露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備とする。

タンク内部等の密閉場所で作業する場合は、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。

SDS 登録 No. 0070759-JP10

製品名: メタルラバー20 エアゾールタイプ プレーキシリンダ組付液 MR20

保護具

呼吸器用保護具	有機ガス用防毒マスク、(密閉された場所では)送気マスク
手の保護具	保護手袋(不浸透性、耐薬品性)
眼の保護具	保護眼鏡(ゴーグル型、側板付等)、保護面
皮膚及び身体の保護具	保護衣(長袖、不浸透性、通電性)、通電性の靴、前掛け等(耐溶剤性)
適切な衛生対策	保護具は清潔で有効なものを使用する 取扱い後はよく手を洗うこと 作業中は飲食、喫煙をしない

9. 物理的及び化学的性質

	内溶液	噴射剤 液化石油ガス	噴射剤 ジメチルエーテル
状態	液体	大気圧下 ガス状 圧力容器内 液状	大気圧下 ガス状 圧力容器内 液状
外観	こはく色	無色透明	無色透明
臭気	弱アミン臭	無臭	やや甘み臭
pH	7.8	該当しない	該当しない
融点	データなし	-187.7~-138.4°C	-141.5°C
沸点	データなし	-42.1~-0.5°C	-24.8°C
引火点	205°C	-104.4~-73.8°C	-41.1°C
発火点	データなし	405~550°C	350°C
爆発範囲	データなし	1.8~9.5vol%	3.4~27vol%
蒸気圧	データなし	0.15MPa(20°C)	1,930mmHg(0°C) 3,800mmHg(20.8°C)
蒸気密度	データなし	1.895~2.538kg/m ³ (1MPa、15.6°C)	1.59(空気=1)
密度(20°C)	1.000g/cm ³	0.573(20°C)	0.661(20°C液体)
溶解性	水に難溶。 メタノール、エタノールに溶解	水に微溶	7.0g/100g 水(18°C) 35wt%(24°C, 5 気圧)
オクタノール/水分配係数	データなし	データなし	データなし
分解温度	データなし	データなし	データなし
その他	データなし	データなし	400°Cのような高温においても不活性雰囲気では熱的に安定である。中性、希薄な酸性及びアルカリ性溶液においても安定である。

10. 安定性及び反応性

反応性及び化学的安定性

- 40°C以上になると破裂の恐れがある。
- 常用温度で缶内圧は約 0.46 MPa。
- 静電気が発生すると引火爆発の危険性がある。
- 高温の表面、火花又は裸火により発火する。

危険有害反応可能性

- 高圧ガスが入っている。加熱、衝撃等により破裂する危険がある。

SDS 登録 No. 0070759-JP10

製品名: メタルラバー20 エアゾールタイプ プレーキシリンダ組付液 MR20

可燃性の液化ガスであり、空気と爆発性混合ガスを形成し易い。車内で放出すると窒息性及び酸欠になることがあるので、使用後は換気を十分に行うこと。換気の際には、周囲に着火源の無いことを確認すること。

酸化性物質と激しく反応する。

プロパン: 二酸化塩素と激しく爆発。

ブタン: ニッケルカルボニル+酸素との混合ガスは爆発を起こす。

ジメチルエーテル: 酸化剤と反応する。光や空気の影響下で爆発性過酸化物を生成することがある。

避けるべき条件

高温多湿な場所での保管及び火気(火炎、スパーク等着火源)の近くでの使用。

衝突を避ける。

直射日光を避ける。

混触危険物質との接触を避ける。

静電気との接触。

避けるべき材料

ガスはアルコール及びエーテルに溶解し、石油類や動植物油、天然ゴムをよく溶解する。

混触危険物質

酸化性物質、水酸化アルミニウム、水酸化アルミニウムリチウム

危険有害な分解生成物

燃焼等により有害なガス(一酸化炭素、二酸化炭素)、フェノール系ベーパー等)を発生する。

その他の有害性情報: 蒸気及びガスは引火して爆発する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性(経口) データ不足のため分類できない。

急性毒性(経皮) データ不足のため分類できない。

急性毒性(吸入:ガス) GHS 定義による気体ではない。

ジメチルエーテル

吸入 ラット LC50 : 308 g / m³

吸入 マウス LC50 : 385,940 ppm / 30 分

人に対する毒性としては、

7.5vol%: 軽い不快感が起こるが、外観的に変化なし。

8.5vol%: 21.5 分後、均衡障害、運動不調、視覚攪乱がおこる。

30 分後、軽い視力減退や脳充血が起こる。

14.0vol%: 23 分後に麻痺がおこる。26 分後失神する。

急性毒性(吸入:蒸気) データ不足のため分類できない。

急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

加成方式が適用できる成分からの判定: 区分 2 の成分合計が、濃度限界(10%)以上のため、区分 2 に該当。

ジメチルエーテル: 皮膚を侵すことは少ないが、液体の状態で皮膚に触れたときは凍傷のおそれがある。

SDS 登録 No. 0070759-JP10

製品名: メタルラバー20 エアゾールタイプ プレーキシリンダ組付液 MR20

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

加成方式が適用できる成分からの判定:眼区分 2B+眼区分 2 の成分合計が濃度限界(10%)以上の
のため、区分 2 に該当。

ジメチルエーテル:眼を刺激する。(発赤、痛み)

呼吸器感受性 データ不足のため分類できない。

皮膚感受性 データ不足のため分類できない

生殖細胞変異原性

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。

毒性未知成分が 80%以上なので、区分外から分類できないに変更。

ジメチルエーテル:サルモネラ菌 119,000 ppm / 48 時間、変異原性なし

ショウジョウバエ:28,000ppm/14 日間、突然変異性なし

発がん性 データ不足のため分類できない

生殖毒性 データ不足のため分類できない

ジメチルエーテル:吸入ラット 28,000 ppm / 6-15 日、催奇性なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

該当成分が $\geq 20\%$ のため、区分 3(麻酔作用)に該当。

該当成分が $\geq 10\%$ のため、区分 2(心臓)に該当。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

データ不足のため分類できない。

ジメチルエーテル:吸入ラット 10,000 ppm / 4 週、悪影響なし。

吸引性呼吸器有害 GHS 定義による固体、液体ではない。

その他の有害性情報

液化ガスが皮膚に触れると、炎症や凍傷を起こす恐れがある。

ジメチルエーテルはごく弱い麻酔性がある

12. 環境影響情報

生態毒性 製品データなし

ジメチルエーテル:分解性は低い

BOD 4 週間 0%(化学物質管理センターホームページ・既存化学物質安全性点検データ 2001)

TOC 4 週間 8%(化学物質管理センターホームページ・既存化学物質安全性点検データ 2001)

GC 4 週間 7%(化学物質管理センターホームページ・既存化学物質安全性点検データ 2001)

残留性・分解性 データなし

生体蓄積性 データなし

ジメチルエーテル:蓄積性がない、又は低い。

土壌中の移動性 データなし

水生環境有害性(急性)

方式 3:加算法 (毒性乗率 $\times 100 \times$ 区分 1)+(10 \times 区分 2)+区分 3 が濃度限界(25%)以上のため、
区分 3 に該当。

水生環境有害性(長期間)

方式 3:加算法 (毒性乗率 $\times 100 \times$ 区分 1)+(10 \times 区分 2)+区分 3 が濃度限界(25%)未満のため、
区分外に該当。毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。

SDS 登録 No. 0070759-JP10

製品名: メタルラバー20 エアゾールタイプ プレーキシリンダ組付液 MR20

オゾン層への有害性

モントリオール議定書に規制されている物質を含まない。

その他

現在のところ有用な情報はないが、漏洩、廃棄等の際は環境に影響を与える恐れがあるので注意すること。

13. 廃棄上の注意

廃棄をする場合には、ガスを完全に抜いた後に行う。

残余廃棄物、汚染容器・包装

廃棄をする場合には、ガスを完全に抜いた後に行う。

許可を受けた産業廃棄物処理業者と受託契約をして処理すること。

中身が出なくなるまで使い切った後でも破裂する恐れがあるのでそのまま火中に投じないこと。

関連法規制並びに地方自治体等の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

「7.取扱い上及び保管上の注意」の項を参照のこと

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器を 40℃以下に保ち、転倒、落下並びに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国際規制**陸上輸送(ADR/RID の規定に従う)**

国連番号 1950

品名 エアゾール

国連分類 2

容器等級 —

海上輸送(IMO の規定に従う)

国連番号 1950

品名 エアゾール

国連分類 2

容器等級 —

海洋汚染物質 該当しない

IBC コード 該当しない

航空輸送(ICAO /IATA の規定に従う)

国連番号 1950

品名 エアゾール

国連分類 2

容器等級 —

国内規制**陸上輸送**

消防法ほか法令の輸送について定めるところに従う。

海上輸送

船舶安全法に定めるところに従う。

SDS 登録 No. 0070759-JP10

製品名: メタルラバー20 エアゾールタイプ プレーキシリンダ組付液 MR20

航空輸送

航空法に定めるところに従う。

航空輸送

航空法に定めるところに従う。

緊急時応急措置指針 126

15. 適用法令

化学物質審査規制法	旧第二監視化学物質(ジシクロヘキシルアミン) 旧第三監視化学物質(ジシクロヘキシルアミン)
労働安全衛生法	危険物・可燃性のガス(プロパン、ブタン、ジメチルエーテル) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(該当しない) 名称等を表示すべき危険物及び有害物 平成 28 年 6 月 1 日施行(ブタン) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(ブタン) 有機溶剤中毒予防規則: 該当しない
船舶安全法	高压ガス
航空法	高压ガス
高压ガス保安法	適用除外(液化ガス・可燃性ガス・圧縮ガス) 但し、政令告示並びに高压ガス保安一般規則規定に従う。
消防法	第四類 第四石油類
海洋汚染防止法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	該当しない

16. その他の情報**参考資料**

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)
GHS 混合物分類ツール Version20090323(経済産業省)
原料 SDS
ジメチルエーテル/液化石油ガス SDS
化学物質管理促進法対象物質全データ(化学工業日報社)
労働安全衛生法対象物質全データ(化学工業日報社)
毒物及び劇物取締法対象物質全データ(化学工業日報社)

注意 全ての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがあるかもしれません。また新しい知見の発表や従来の説の改訂により内容に変更が生じることがあります。ここに記載された情報は情報の完全さ・正確さを保証するものではありません。全ての化学品には未知の有重要な決定等にご利用される害性があるため、取扱いには細心の注意が必要です。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行って下さい。

[会社情報]

販売者：(株)スズキ自販北海道

所在地：札幌市東区北30条東1丁目1-44

TEL:011-753-3191